

令和3年度対エルサルバドル共和国
草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ヒキリスコ市エル・タブレテ・ハグアル村
エル・エンカント地区飲料水供給計画」引渡し式の開催



2023年10月24日、有吉勝秀駐エルサルバドル日本国大使は、ヒキリスコ市ミサエル・ペレス市長、ワールド・ビジョンのロベルト・ビジャコルタ国代表、エル・ポルベニール村落開発協会オマール・ピネダ会長および対象地区の住民の方々とともに、「ヒキリスコ市エル・タブレテ・ハグアル村エル・エンカント地区飲料水供給計画」の引渡し式に出席しました。本計画には総額187,959.11米ドルを要し、うち日本からは128,636.00米ドルを支援しました。

本計画は、ウスルタン県ヒキリスコ市エル・タブレテ・ハグアル村エル・エンカント地区に住む子供や高齢者を含めた234世帯1,170人の住民に、水汲みの重労働を強いることなく、安全な水を供給することで、住民の健康および生活環境の改善に寄与します。

この地区始まって以来、人々が衛生的な水を使用したことは一度もありませんでした。井戸を持つ数少ない世帯（全世帯の10%以下）では、井戸の水深が20m以上と深いため、水汲み作業は2～3人がかりの重労働で、時には馬を使うこともありました。井戸を持たない世帯は、片道1時間かけて川まで水汲みに行くか、井戸を持つ近所の住民から水を購入していました。また、雨期は雨水も利用して生活用水を確保しましたが、乾期は井戸が枯渇し、生活環境は苛酷になりました。



ヒキリスコ市エル・タブレテ・ハグアル村エル・エンカント地区飲料水供給計画の引渡し式

このような状況下、エル・ポルベニール村落開発協会は、地区住民と協力し、ヒキリスコ市と在エルサルバドル日本国大使館に支援を求め、草の根・人間の安全保障無償資金協力による支援が実現しました。



実施前：多くの家庭が、雨期には雨水を再利用し、乾季には高額な水を購入していました。



実施中：案件実施期間中、多くの裨益住民が施工作業に参加しました。



実施後：住民は、家庭で快適に水を得ることができ、喜んでいました。



「自宅に直接水が届くようになり、とても喜んでいました。水がなければ何もできません。家事を行うため、雨水を溜めることもありました。水汲みに行くのは重労働でしたし、体の調子が悪い時は、なおさら大変でした。

このような理由から、この案件に大変満足していますし、特にご支援いただいた日本政府とヒキリスコ市に対し感謝の気持ちで一杯です。」

ヒルダ・グロリア・カンポ氏
エル・エンカント地区裨益住民

駐エルサルバドル日本国大使

有吉勝秀

本日は、日本国大使館にとって、地域の皆様全員の努力の賜物として迎えた飲料水供給計画の竣工を祝う、大変特別な日です。本件は2018年から申請手続きが開始され、ようやく本日現実のものとなりました。どうか大切に施設の維持管理を続け、さらに未来の世代も引き続き水供給の裨益を受けられることを願います。当国と我が国の友好関係は88年間続いており、この良好な関係に基づき、我々は当国に対する協力を行っています。

ヒキリスコ市長

ミサエル・ペレス

エル・エンカント地区の飲料水供給計画実施のためにご支援いただいた日本国大使館に対し、心から感謝申し上げます。また、2018年から本件実現のために努力を続けてきたエル・ポルベニール村落開発協会に敬意を表します。願わくば、多くの村落開発協会がエル・ポルベニールの皆さんの後に続くよう期待したい。また、地域の皆さんには水資源を大切にしてください。

ワールド・ビジョン代表

ロベルト・ビジャコルタ

本件実施における、エル・エンカント地区の皆さんの素晴らしい団結力に敬意を表します。本件は同地区の皆さんの生活環境を大きく改善し、将来の世代にとっても貴重な遺産となることでしょう。また、本件を実施するため、様々な組織による協力をまとめた日本国大使館のリーダーシップにも敬意を表します。ワールド・ビジョンは、今後もコミュニティレベルのプロジェクトを支援するため、様々な関係機関と協力・連携していきたいと思ひます。

エル・ポルベニール村落開発協会会長

オマール・ピネダ

地区を代表し、本件実施に際し協力頂いた全ての関係機関に対し、感謝申し上げます。水がなければ、我々の生活は本当に大変です。本件実現のため、様々な機関に相談してきましたが、実際に我々を信用し、協力を頂いた日本政府、ワールド・ビジョン、ヒキリスコ市、(井戸掘削に協力を仰いだ)アグア・ビバ協会に対し、改めてお礼申し上げます。

在エルサルバドル日本国大使館が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて実施しているこれらの案件は、「人間の安全保障」の概念である「人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、

それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じ、持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方」のもと、エルサルバドル国民、特に最も脆弱な地域に住む人々の生活環境の質を改善しようとして試みているものです。

